

102 社 214 名が集い、 「平成 20 年度山形市蔵王倫理経営講演会」開く!

講師:法人局教育業務部主席山口秀雄氏をお招きす

■より多くの会員・非会員企業のみなさまに、倫理法人会活動内容の一端を知って戴くために開催している「倫理経営講演会」。

「平成 20 年度倫理講演会」(以下、「倫講」と略)、6 月 10 日(火)午後 4 時より当会「モーニングセミナー」定例会場となっている山形グランドホテル・サンリヴァホールを会場に開催、テーマは「日本創生の心」-家族-、1 時間 30 分の講演。

一見、「事業の経営と家族のあり方は何の関係があるのか?」という疑問を払拭する、密接に関係している「事業経営と家庭のあり方」について、講話を承り、学んだ。

■開会に先立ち、鈴木隆一会長の会長挨拶があり、引き続き倫理経営の基本、鈴木重幸



朝礼委員長の指揮の下、「朝礼実演」のデモンストレーションを、会員企業(株)でん六殿、城北麵工(株)殿、(株)エム・エス・アイ殿、(株)鈴木製作所殿メンバー 12 名で披露。会場いっぱい「活力朝礼」(社員皆さんの心に火をつけ、やる気を引き出し、社内を明るく一変させていく一助の朝礼 → 倫理法人会で進めております)を発表。朝一番の「お早うございます」という明るい挨拶は活力の交換であり、ここから一日がスタートし、経営理念や行動指針などの価値観の共有化を図ることが肝要であることを講演会参加者のみなさまに紹介。「活力朝礼」、何ら難しいことを行っているのではないことも知って戴き



たく実演させていただいた。

■この後、本題の倫講。講師から大変分かりやすい、「家庭とは、人生の旅路におけるハキモノである。靴とか草履などのようなもので、ハキモノが悪ければ歩けない。歩けない人生ほどつまらないものはない。家庭とは、①衣食住のもと、②精神のよりどころ、③人間教育の場、④祖先と心を通わせる場、⑤人間の諸活動のエネルギー発源元であり、家族の健康を生み出す、事業と仕事の成功をもたらす、人間性の向上、生命力を養い、増大させる、全ての幸福を生み出す場であることを話された。

また、健全な繁栄は、家族の調和から生まれ、「家庭創生」がすなわち「日本創生」に結びつくことであり、健全な繁栄を実現させる為には、夫婦の一致和合、親子の睦み愛が根本であることを説かれ、一家の愛和から傾きかけた日本を創生していこうと述べられた。

すなわち、事業経営と家庭のあり方がいかに密接に関係しているか分かることであり、愛和の実践が生きていく基本であることで話を結ばれた。



◇「活力朝礼」実演を終えて・・・鈴木重幸朝礼委員長談◇

今回の倫講が開催されたおり、倫理法人会が推奨しております「活力朝礼」の実演を、山形市蔵王倫理法人会のメンバー企業(前述)有志 12 名にて行いました。「活力朝礼」の内容としては、司会による出席者の確認・社長紹介・「セブンアクト斉唱」・挨拶の練習・各部門からの連絡事項・「職場の教養」輪読を行い、11 分くらいの時間で終わります。「活力朝礼」は個人のスキルアップ・職場、会社の活性化に大いに役立ちますので、皆さんの会社でも取り入れられてはいかがでしょうか?

会員募集のお願い

県倫理法人会では、全県下総会員数 1200 社を目標に新入会員を募集しております。

当会拡大目標 158 社に向け、現在 155 社(目標達成率 98.1%)。新しい仲間づくりに声掛けのご協力をお願いいたします。